

松山市こども計画に関する アンケート調査結果について

令和8年2月9日

こども
まなび

1. 概要

(1) 調査目的

「松山市こども計画」で設定している成果指標(KPI)の各年度の状況を確認するとともに、市のこども施策や市に対する市民の声を聴き取り施策反映につなげる。

(2) 調査概要

項目	内容
実施期間	令和7年9月22日(月)～令和7年10月17日(金)
対象者	小学5年生以上の市内在住者(市内の学校等に通学する学生を含む)
実施方式	LoGoフォームを活用したインターネット回答(無記名式)
アンケート内容	<p>・松山市こども計画で設定している成果指標の項目 ・子どもの権利に関する項目 ・市のこども施策、市への要望等</p> <p>※アンケートの設問は市ホームページに掲載 https://www.city.matsuyama.ehime.jp/kurashi/kosodate/boshi/r7anke-to.html</p>
周知方法	広報誌、市公式LINE、まつやまこども・子育てサイト「にこっと」への掲載、教育・保育施設、子育てひろば、小中学校、児童館・児童センター、高等学校等各種学校、大学・短期大学、放課後等デイサービス事業所、ハローワーク、ジョブカフェ愛workへ依頼



(3) 調査結果

項目	内容
調査結果の活用	アンケート結果は市HP、「にこっと」で公表。 令和7年度分の「松山市こども計画」の点検・評価、市のこども施策等に反映
回答結果	合計6,775件 (内訳) 小学生:3,011件、中学生:1,945件、15~17歳:391件、 18~39歳:645件、40~64歳:658件、65歳以上:32件、不明・未回答:93件
結果報告書	(市HP) https://www.city.matsuyama.ehime.jp/kurashi/ kosodate/boshi/r7anke-to.html 

2. 主な調査結果

(1) 成果指標に関する調査項目

基本方針	成果指標		計画策定時の数値 (令和6年度)	今回調査時の数値 (令和7年度)	目標 (令和11年度)
(1)	自分が幸せだと思うこども・若者の割合	小中学生	92.7%	93.9%	95.0%
		15~39歳	92.0%	92.3%	95.0%
(2)	自宅以外に安心して過ごせる自分の居場所があるこどもの割合	小中学生	81.1%	82.8%	90.0%
		15~17歳	59.2%	71.9%	75.0%
(3)	困ったときに相談したり、悩みを話せる人がいる割合	小中学生	82.0%	80.4%	90.0%
		15~39歳	81.6%	85.4%	90.0%
(4)	自分の将来に明るい希望を持っている若者の割合	小中学生	75.8%	84.1%	85.0%
		15~39歳	63.7%	78.4%	75.0%
(5)	こども家庭センターの認知度		46.8%	52.3%	75.0%
	合計特殊出生率	1.25 (令和4年)	—	1.41 (令和9年)	

2. 主な調査結果

【参考】成果指標に関する調査項目 年代別詳細

基本方針	成果指標		令和7年度		
(1)	自分が幸せだと思う こども・若者の割合	小中学生	93.9%	小学生	94.0%
		15~39歳		中学生	93.7%
		15~39歳	92.3%	15~17歳	92.1%
		18~24歳		18~24歳	93.6%
		25~39歳		25~39歳	91.1%
		小中学生	82.8%	小学生	82.9%
(2)	自宅以外に安心して 過ごせる自分の居場所がある 子どもの割合	15~17歳		中学生	82.6%
		小中学生	80.4%	小学生	79.6%
		15~39歳		中学生	81.5%
(3)	困ったときに相談したり、悩み を話せる人が いる割合	15~39歳		15~17歳	83.4%
		18~24歳		18~24歳	84.2%
		25~39歳		25~39歳	89.2%
		小中学生	84.1%	小学生	86.8%
		15~39歳		中学生	80.0%
(4)	自分の将来に明るい希望を 持っている若者の割合	15~39歳	78.4%	15~17歳	79.3%
		18~24歳		18~24歳	83.6%
		25~39歳		25~39歳	71.8%

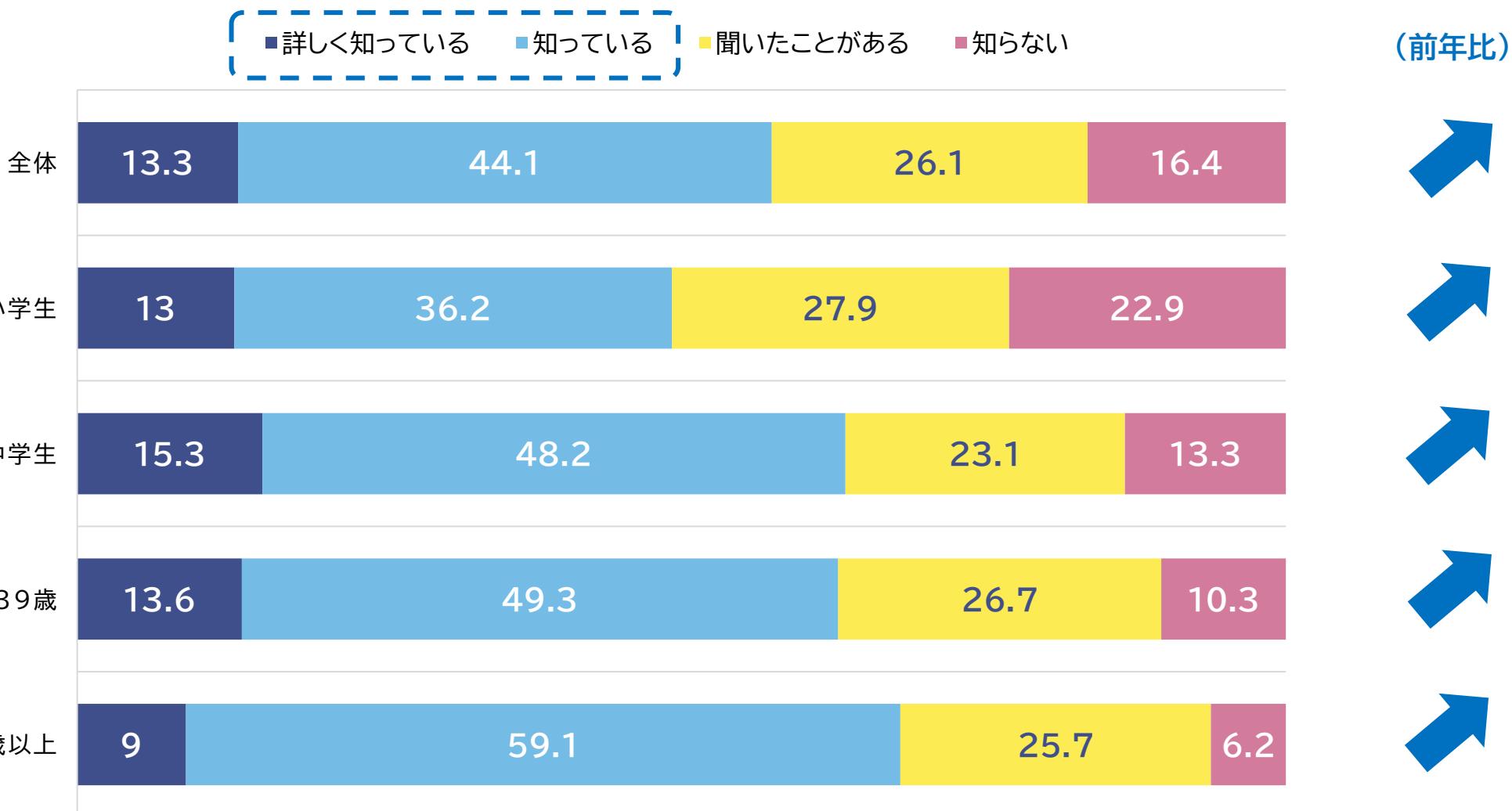
2. 主な調査結果

(2) 成果指標以外の項目についての調査結果

① 子どもの権利の認知度

【差別の禁止】

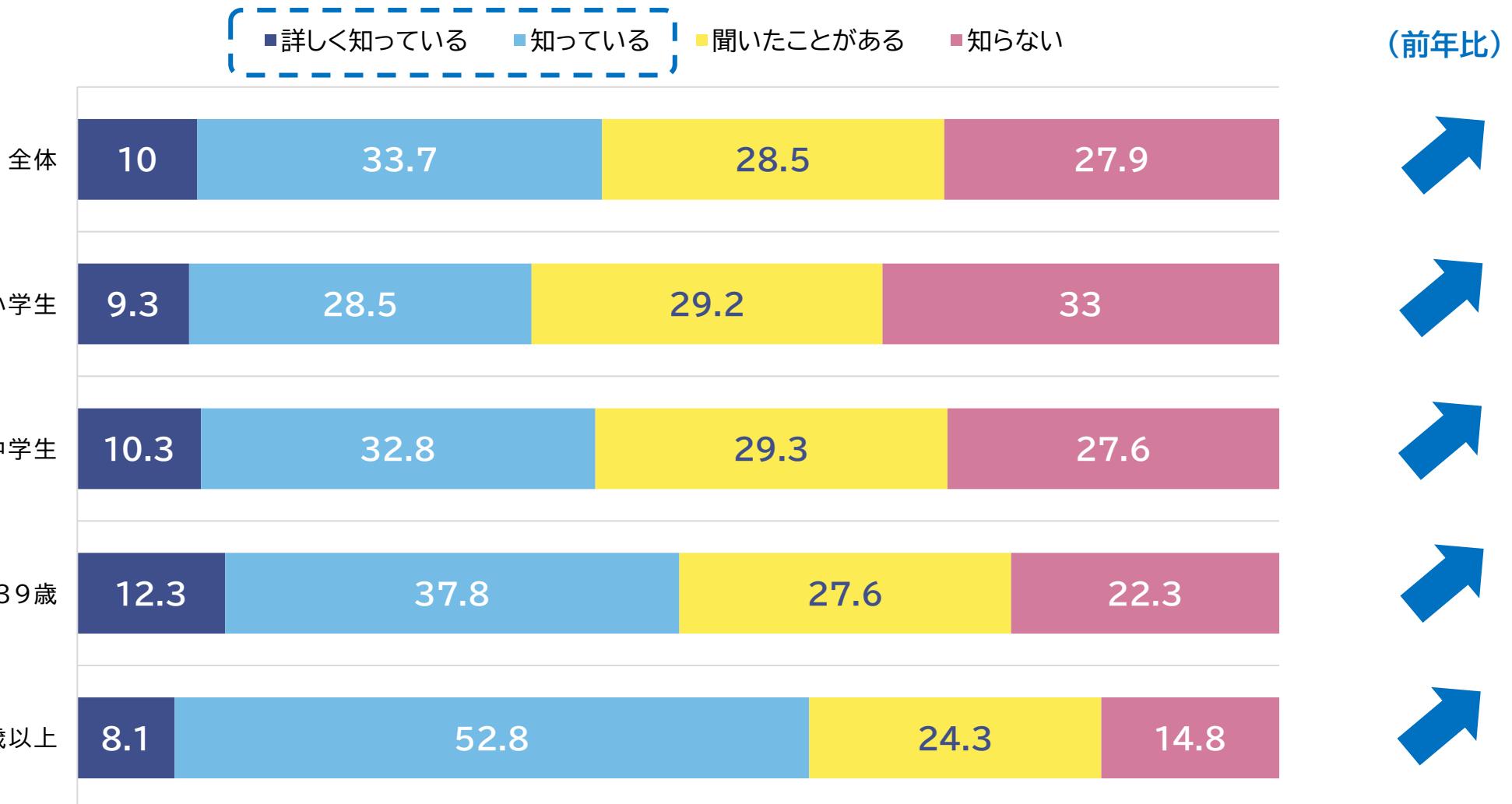
すべての子どもは、子ども自身や親の人種や国籍、性、年齢、意見、障がい、経済状況などどんな理由でも差別されること



2. 主な調査結果

【最善の利益】

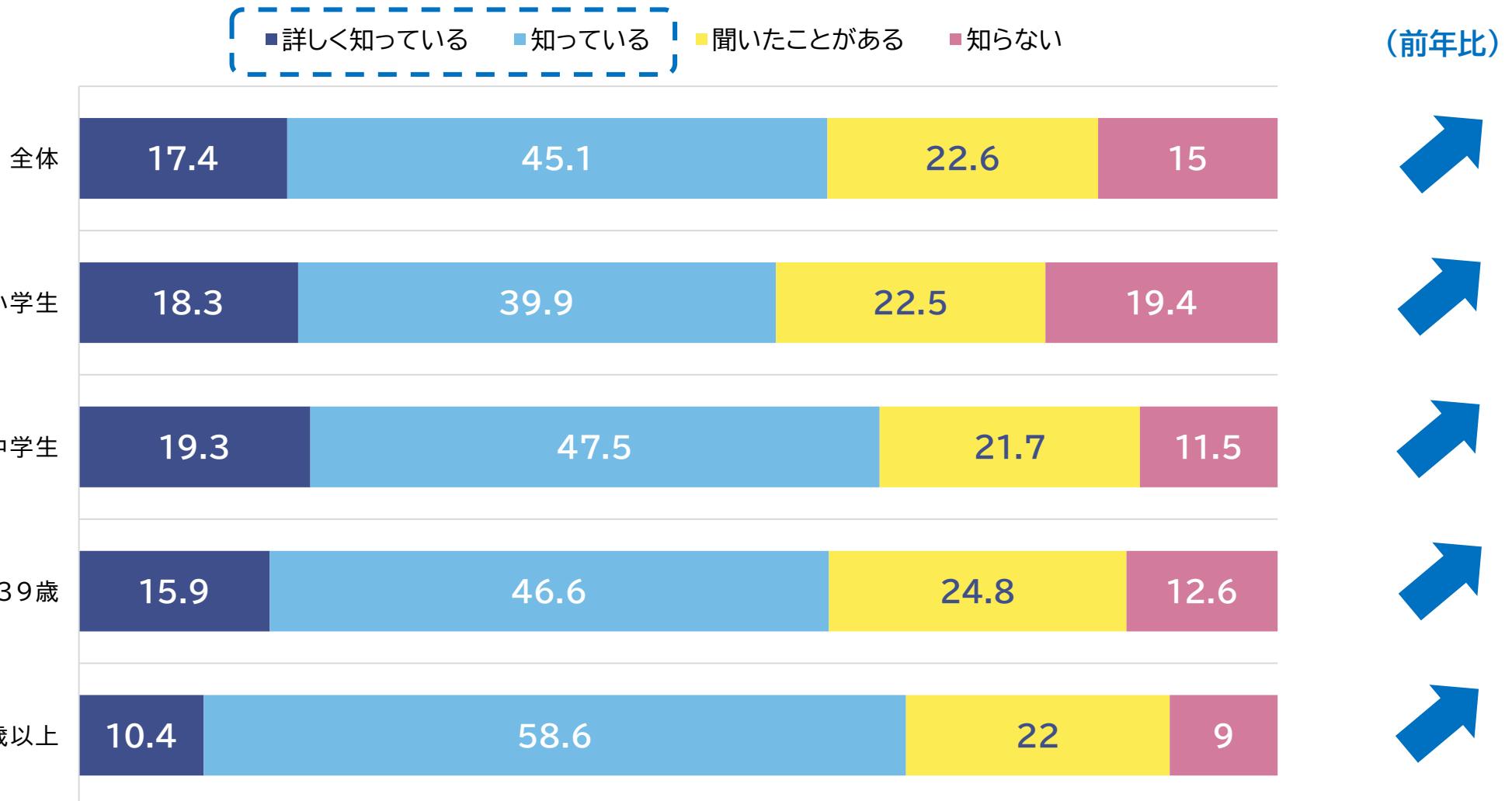
こどもに関することが決められ、行われるときは「そのこどもにとって最もよいことはなにか」を第一に考えること



2. 主な調査結果

【生命・生存】

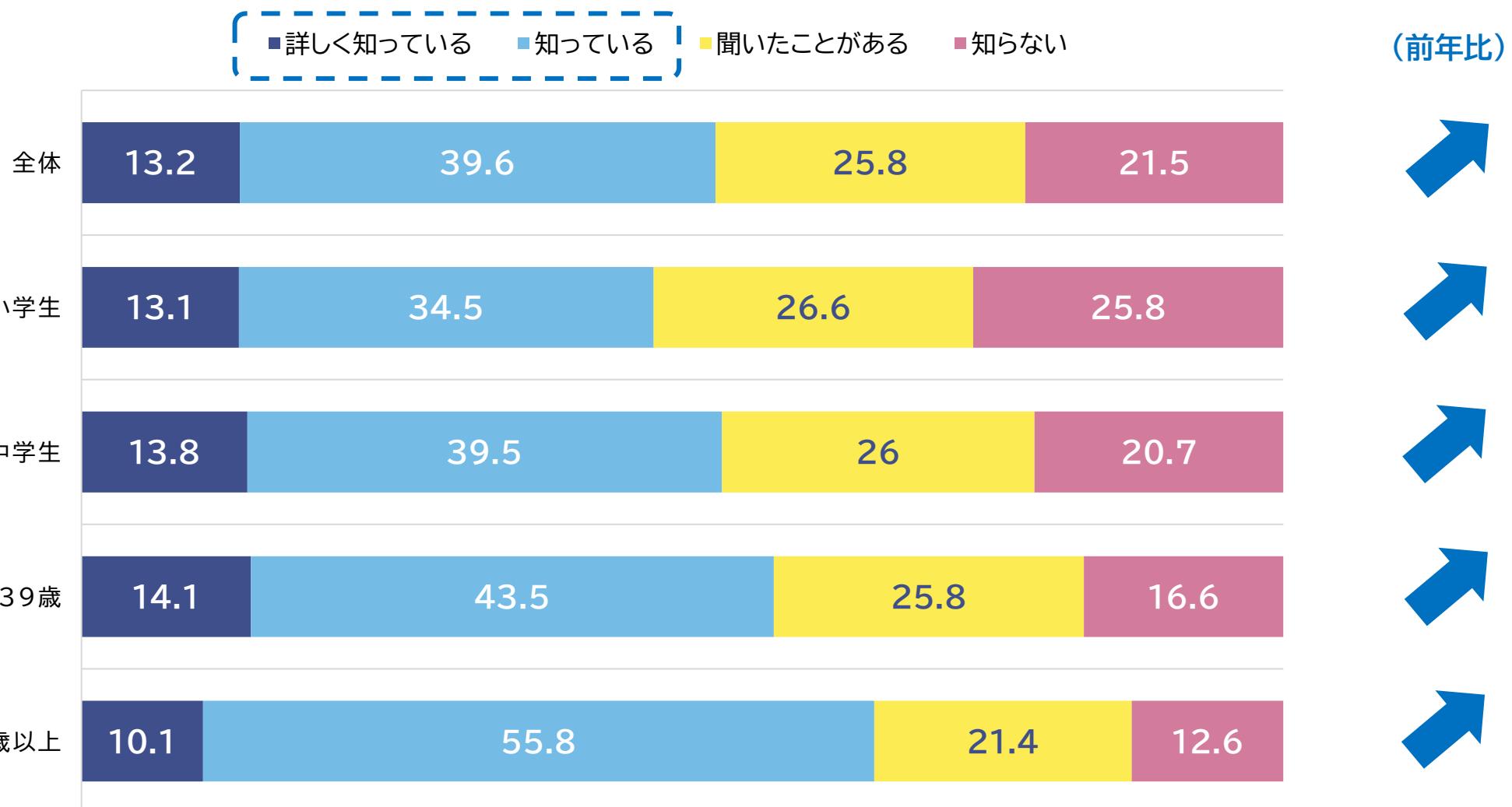
すべての子どもの命が守られ、もって生まれた能力を十分に伸ばして成長できるよう、医療・教育・生活への支援などを受けること



2. 主な調査結果

【意見表明】

こどもは自分に関係あることについて自由に意見を表すことができ、おとなはその意見を子どもの発達に応じて十分に考慮すること



2. 主な調査結果

②まつやま こども・子育てサイト「にこっと」の認知度

